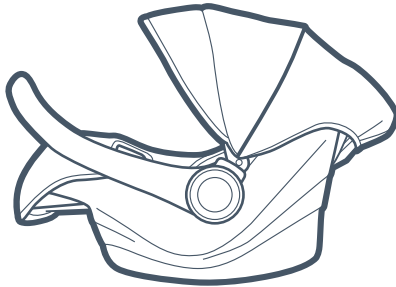


クレイドル・オーカ ファーストキャリー

BD-001

取扱説明書 [保証書付]

ご使用前に、必ずこの『取扱説明書』を読んでいただき
十分理解された上で記載の内容に従って正しくご使用ください。



クレイドル・オーカ
ファーストキャリー



体重
13kg
未満のお子様
新生児～1歳頃
まで

Cradle®

本装置は
後ろ向き専用です。

企画・販売

SANSHO

株式会社シーエー産商

本社 〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51
TEL.0568-28-5333 FAX.0568-28-5340

<http://www.ca-sansho.co.jp/>

MADE IN CHINA 2018-10

ご使用になる前に、 安全のため必ずお読みください。

- 本装置は、「汎用」年少者用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用として、最新のヨーロッパの安全基準で試験を受け、規則第44号の04改訂に基づいて認可されており、一部を除きほとんどの車両に適合します。
- 車両製造者の車両ハンドブックに当該車両が、この年齢層向けの「汎用」年少乗車装置を搭載できると明記されていれば、本装置が正しく取り付けられます。
- 本装置は、3点式巻取装置付シートベルトを装備している座席にのみご使用で（2点式シートベルトの座席には使用できません。）
- ご不明な点は、お買い上げの販売店または㈱シーエー産商まで、お問い合わせ

ご利用にあたって

本書を読んでいただくためのポイントマークについて

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただいた上でご使用ください。

警告

事故につながったり、生命の危険、重大な傷害のおそれがあることを記載しています。

注意

安全のため、ご注意ください。いただきたいことを記載しています。

補足

より安全・快適にいただく上で、いただきたいとしています。

✕ 図に表示している行為の禁止を示しています。

お使いいただけるお子様の目安

体重

2.5kg以上13kg未満の

お子様

(新生児～1歳頃まで)

身長

**本装置に乗せて
頭が本装置から出ない**

補足

- 長時間連続してのご使用は、お子様の負担となりますので、1時目安として休憩を取るようになさってください。
- 運転者以外の同乗者は、お子様から目を離さないようになさってください。運転者が安全に留意して、休憩時などにお子確認してください。

取り付け可能な車両のシートベルトと 取り付ける上での注意点

必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。
2点式シートベルトの座席には、取り付けられません。

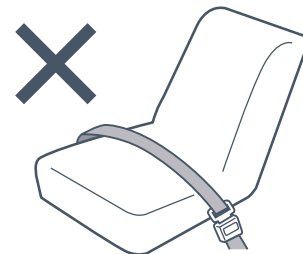
3点式シートベルト

腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で
体を支えるシートベルト。



2点式シートベルト

腰ベルトの左右2点で体を支える
シートベルト。



| シートベルトの種類 | 特徴 | 取り付けの際の注意点 | 取り付けの可否 |
|-----------------------------------|--|--|---------|
| ELR 緊急ロック式 〈巻き取り装置付〉 | ゆっくり引き出すと自由に入りますが、急に引き出したり急ブレーキ等のショックが加わるとロックするシートベルト。 | シートベルトをゆっくり引き出して取り付けてください。 | ○ |
| AELR 〈チャイルドシート 固定機能付〉 | すべて引き出した後で巻き戻すと、チャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなるシートベルト。 | すべて引き出して使用できません。チャイルドシート固定機能を解除して使用してください。 | ○ |
| NRマニュアル式 NLR非ロック式 〈巻き取り装置付〉 | ロック機能がなく、すべて引き出して長さを調整するシートベルト。 | ベビーシートに合わせて長さを調整して取り付けてください。 | ○ |
| ALR 自動ロック式 〈巻き取り装置付〉 | 引き出す途中で止めると、ベルトが自動ロックされ引き出せなくなるシートベルト。 | 使用できません。 | ✕ |

安全にお使いいただくために—

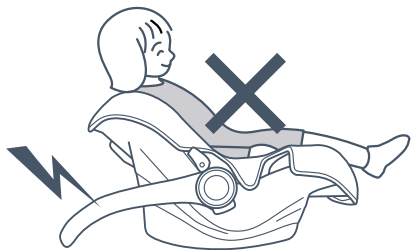


警告

本装置は、安全な後部座席に取り付けてく

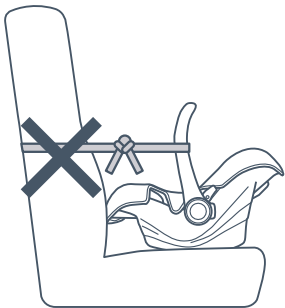
※エアバッグが装備された前座席には、取り付けられま

- 使用条件に適合しないお子様や、座席では使用しないでください。

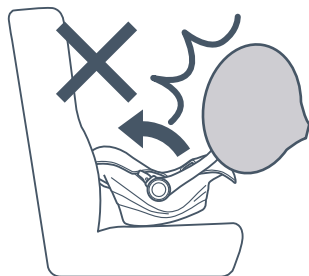


- 安全のため、必ず後ろ向きに取り付けてください。前向きでは使用できません。

- 取り付ける際は、必ず車両のシートベルトで固定してください。ひも等シートベルト以外のもの固定して、使用しないでください。



- エアバッグが装備本装置を使用でき衝突時、エアバック衝撃を受け非常に※サイドエアバック使用できません。



- 『取扱説明書』をよ取り付けてくださ取り付けできないないでください。

- 左右のタングを重ね合わせて、「カチッ」と音がするまで確実にバックルに差し込んでください。

3

安全にお使いいただくために—②

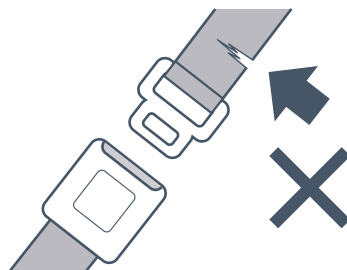


警告

- お子様が、バックルボタンを押してしまう可能性があります。時々タングがバックルから外れていないかを確認してください。



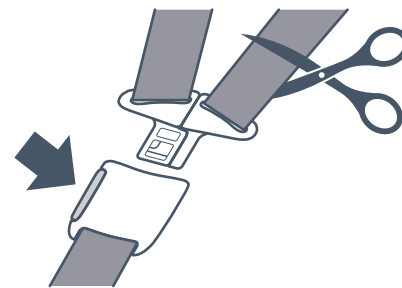
- 車両のシートベルトに傷がある場合、その座席には決して取り付けないでください。



- お子様を本装置に乗せない時、また、車内に置いたまま運転される場合でも、必ず車両のシートベルトで固定してください。



- 事故などの緊急時は、バックルボタンを押し、肩ベルトを外してお子様を車外に脱出させてください。肩ベルトが外れない場合は、肩ベルトを切断してください。

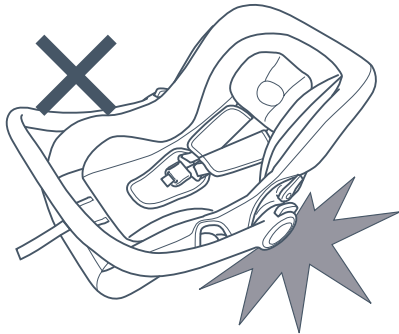
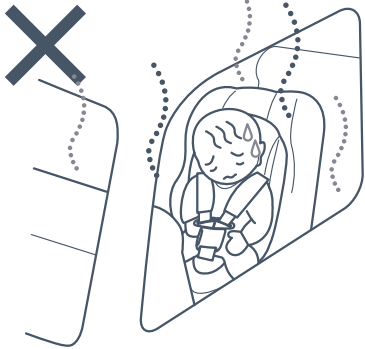


4

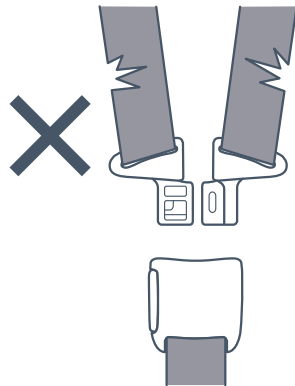
安全にお使いいただくために—③

警告

- お子様を本装置に乗せたまま、車内にひとりで放置しないでください。予期せぬ事故の原因となる場合がありますので、必ず保護者の方が、同乗してください。
- 衝突事故や、本装置を落下させた時など、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上問題がなくても絶対に使用しないでください。



- 肩ベルトが緩んだ状態で使用すると、お子様が脱落したり肩ベルトが首に巻きついて窒息するおそれがありますので、正しい長さに調節してからご使用ください。
- 本装置のベルトに傷が付いた場合は、使用をただちに中止してください。

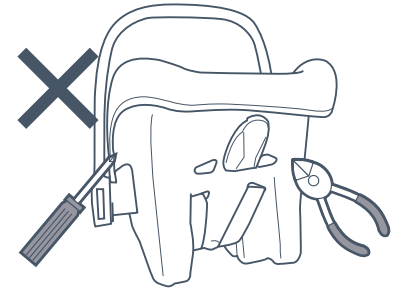
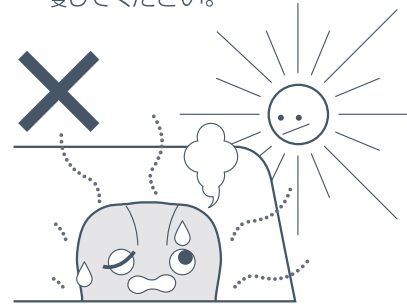


5

安全にお使いいただくために—④

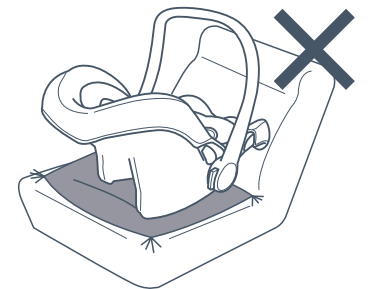
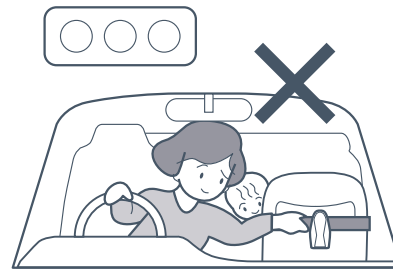
注意

- 射日光が当たったり、夏の日差の強い日に車内に置いたままにすると、本装置のタンクなどが熱くなって、お子様がやけどをする場合がありますので、日陰に駐車するか本装置にカバーをかけて覆ってください。
- 本装置を改造したり、シートクッションを外して使用しないでください。万一の場合、十分な機能を果たさなくなります。



- 本装置を屋外・風雨にさらさないようにしてください。
- 本装置を車両のドアに挟まないように取り付けてください。
- 車両の座席にクッションや座布団などを敷いたまま、取り付けしないでください。(保護シートは除く)

行中は、本装置の操作・移動はよいください。

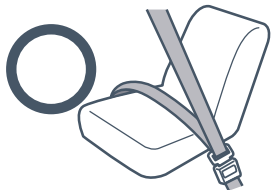


6

安全にお使いいただくために—⑤

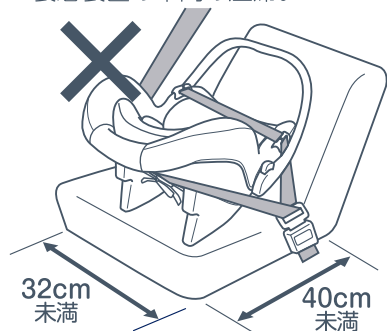
⚠ 注意

- 本装置が取り付けられるのは、3点式シートベルトの座席のみです。

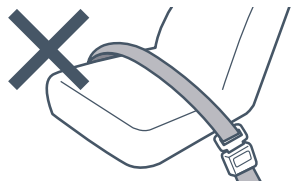


取り付けできない座席

- シートベルトの長さが230cm以下の座席。
- 座面の奥行きが40cm未満の座席。
- 座面の幅が32cm未満の座席。
- パッシブシートベルト（オートマチックシートベルト）、自動シートベルト装着装置の車両の座席。



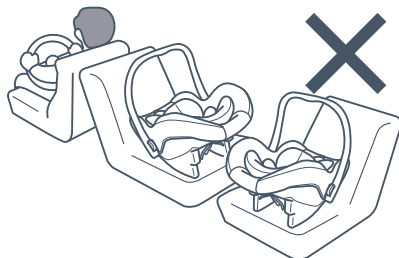
- シートベルトが付いていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。



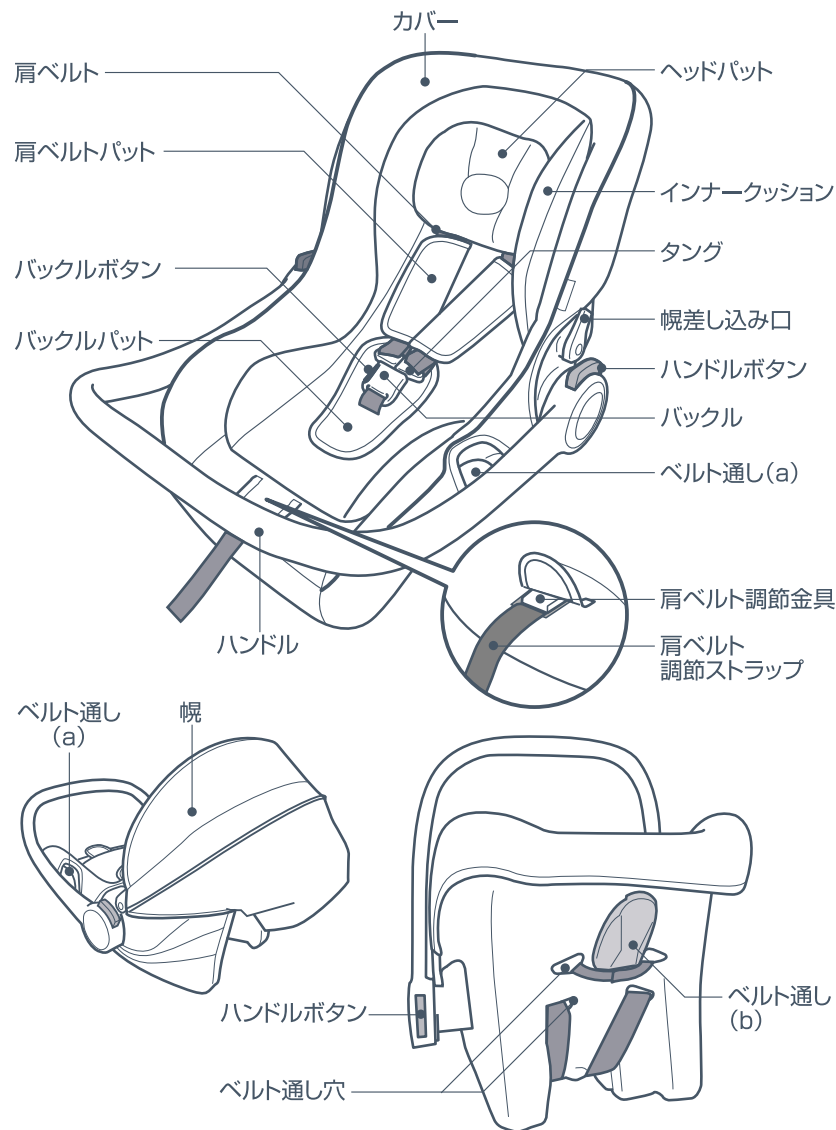
- 極端なバケットシート。
座面・背面が極端に凹んだ座席。
- 座面の凹凸が大きく不安定な座席。
- ベルト通し(a)よりも前方に車両のシートベルトが出ている座席。



- 車両の進行方向に対して座席が横向き、または、後ろ向き



各部の名称

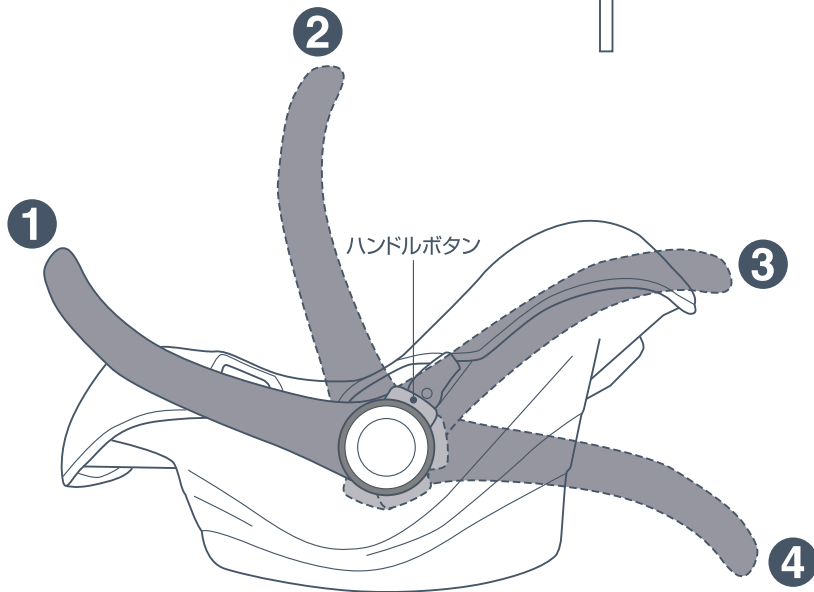
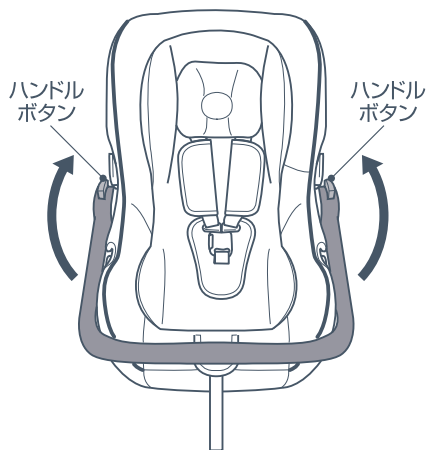


ハンドルの使い方

ハンドルの左右にあるハンドルボタンを同時に押しながら、ハンドルの位置を前後に回転させてください。

ハンドルの位置は、4段階に調節することができます。

ハンドルが固定される位置になると、押し込んだハンドルボタンは元の位置に戻ります。



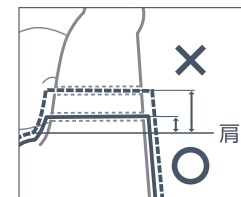
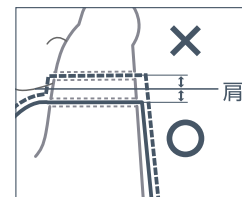
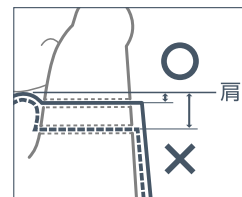
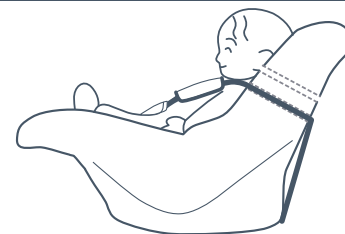
注意

ハンドルを回転させる時、お子様の手・指を挟まないように注意してください。固定しないままにしておくと、思わぬ事故につながる場合がありますので、ハンドルは必ず固定した状態でお使いください。

肩ベルトの高さ調節

お子様の肩よりやや低い位置のベルト通し穴に通してください。

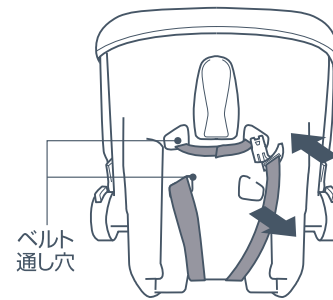
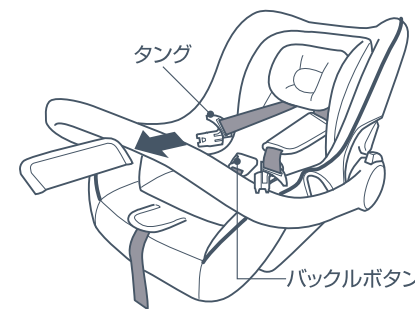
お子様の肩よりベルト通し穴が上になる場合は、肩の位置に最も近い位置に通してください。



警告

ベルト通し穴の位置が、お子様の体に合っていないと衝撃が加わった時に肩ベルトが外れ、お子様を保護できません。

- 1 バックルボタンを押しタングを外し、肩ベルトから肩ベルトパットを引き抜きます。
- 2 背もたれ裏側のベルト通し穴から肩ベルトを引き抜きます。



- 3 肩ベルトをお子様の体に合った位置のベルト通し穴に通し、肩ベルトパットを通します。
- 4 お子様を本装置に乗せて、肩ベルトが適正な位置になっているかを確認してください。

肩ベルトの調節

●肩ベルトを締める

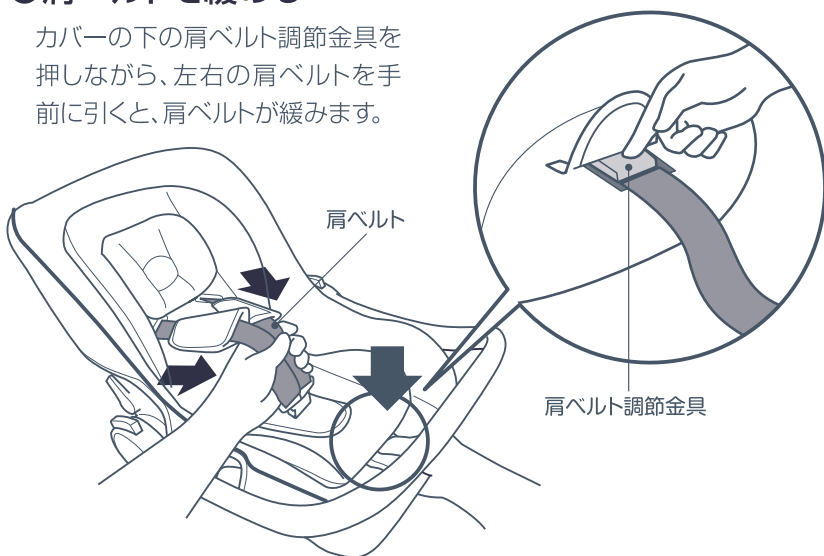
肩ベルト調節ストラップを手前に引くと肩ベルトが締まります。



肩ベルト調節ストラップを上
に引っ張ると、肩ベルト調節金具が
破損するおそれがあります。

●肩ベルトを緩める

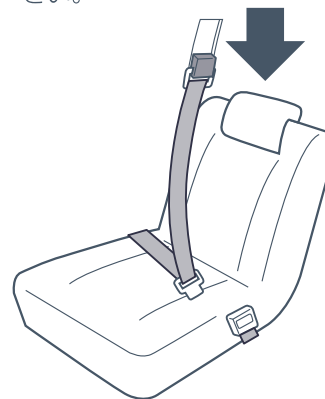
カバーの下の肩ベルト調節金具を
押しながら、左右の肩ベルトを手
前に引くと、肩ベルトが緩みます。



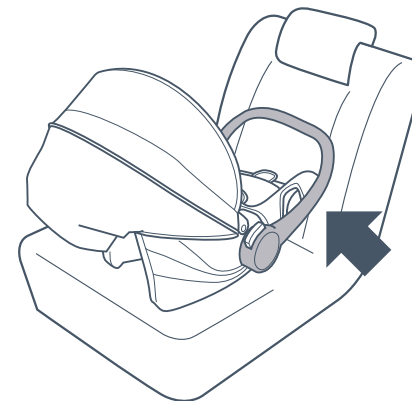
11

取り付けの準備

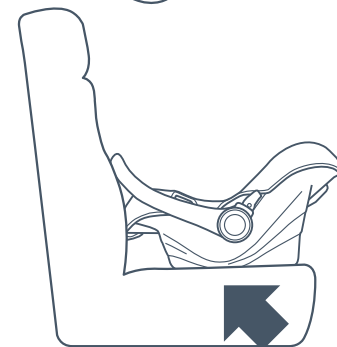
- 高さ調整ができるシートベルトの
場合は、最も低い位置にしてくだ
さい。



- ハンドルの位置は、車両のシートの
背もたれの方向に調節してくだ
さい。



- 本装置は、後ろ向き専用です。
前向きでの取り付けはできません。



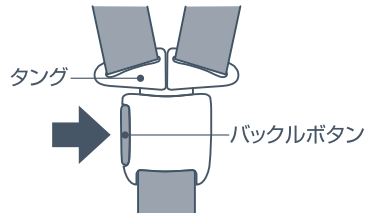
- 取り付ける座席に、本装置の底
面がぐらつかないようにしっかりと
設置させてください。

12

お子様を乗せる

1

バックルボタンを押してタングを引き抜き、肩ベルトを外します。



肩ベルト調節金具を押しながら肩ベルトを手前に引いて緩めます。

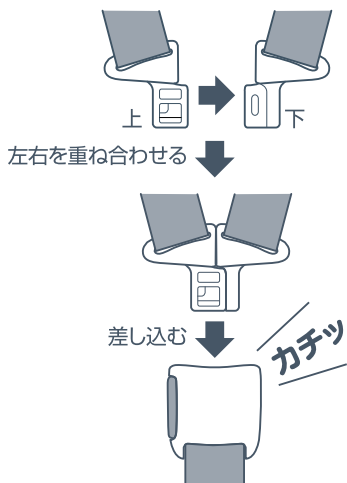
2

お子様を本装置に乗せ、左右の肩ベルトをねじれないように肩からかけます。



3

左右のタングを重ね合わせて、「カチッ」と音がするまで、確実にバックルに差し込みます。



4

肩ベルト調節ストラップを手前に引いて、肩ベルトがお子様の体にフィットするように調節します。



肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

13

各部の調節

タングをバックルに確実に差し込んでください。

お子様を乗せ、ベルト通し穴の位置を、お子様の体に合わせてください。

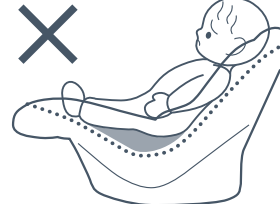
バックルベルトがお子様の両足の間に通っていること。

肩ベルト調節ストラップを手前に引き、肩ベルトの緩みをなくす。



※肩ベルトの調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に、指が1本入る程度に調節してください。

■お子様を、本装置に深く乗せてください。



⚠ 警告

おくるみなど手足の出ない衣類、過度の重ね着で使用しないでください。

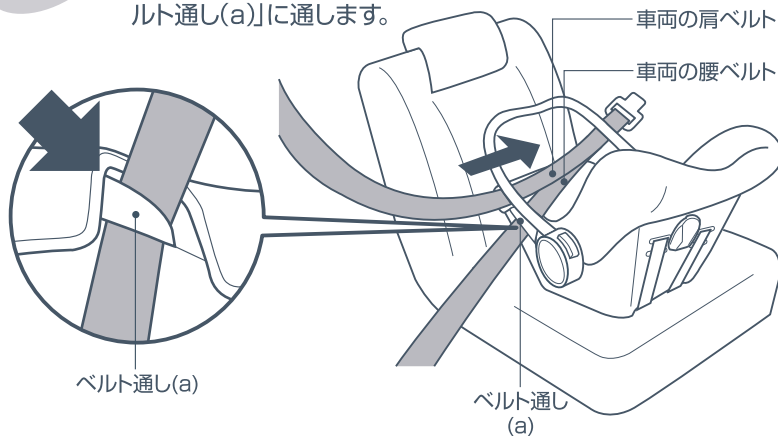


14

取り付け方

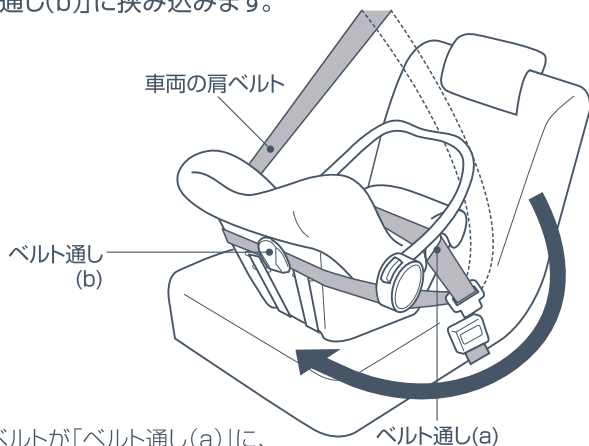
1

車両のシートベルトを引き出し、車両の腰ベルトを本装置の両サイドにある「ベルト通し(a)」に通します。



2

車両の肩ベルトを、本装置の背面にある「ベルト通し(b)」に挟み込みます。

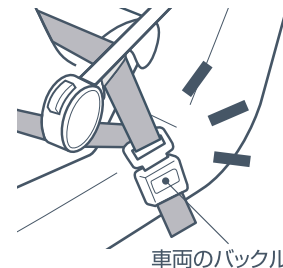


注意

車両の腰ベルトが「ベルト通し(a)」に、しっかり挟み込まれていることを確認してください。

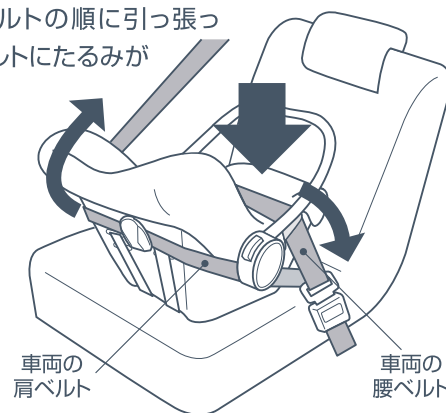
3

車両のタングを、車両のバックルに差し込んでセットします。

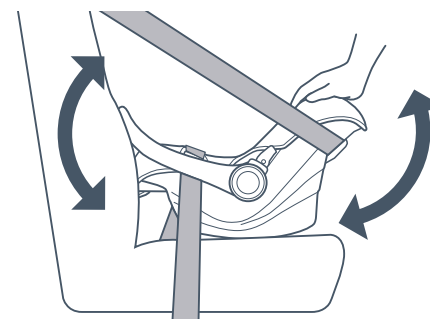


4

本装置の座面を強く押し付けながら、車両の腰ベルト・肩ベルトの順に引っ張って、車両のシートベルトにたるみがないように固定してください。



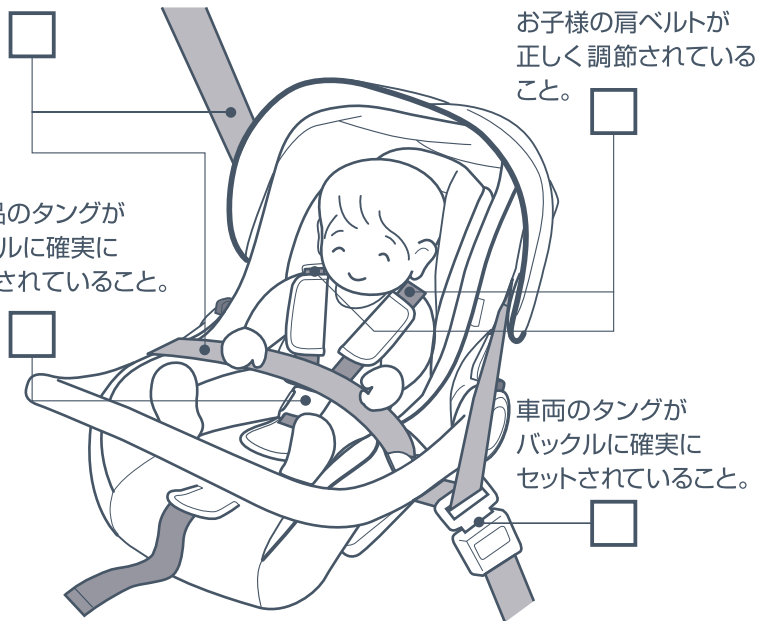
本装置を前後左右に揺すり、ぐらつきがないか確認してください。



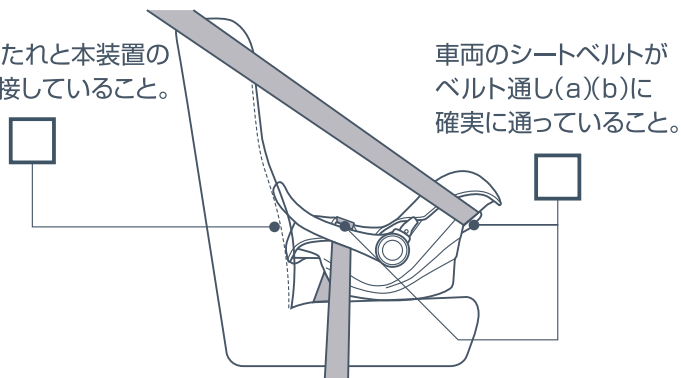
取り付け時の安全チェック

取り付けが完了したら、本装置がしっかりと取り付けられているか下記の項目にチェック☑してください。

車両のシートベルトにねじれやたるみがないこと。

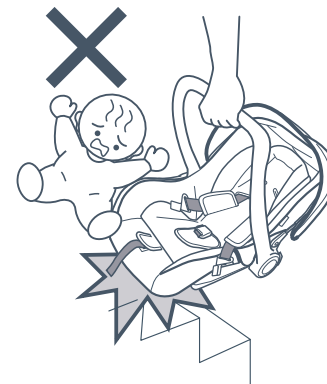


車両の背もたれと本装置の隙間がなく接していること。



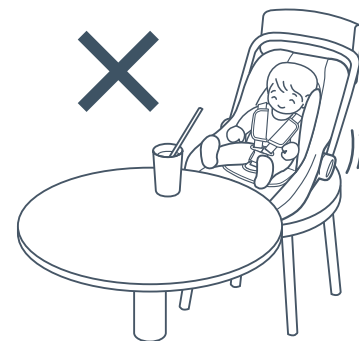
ベビーキャリーとして使う

● お子様を乗せる時は車両に乗せる時と同様に、タングとバックルを固定し、肩ベルトを適正な長さに調節してからご使用ください。

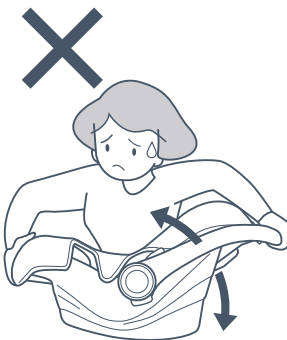


● 階段・坂道や段差のある場所は、十分にご注意ください。ぶつかけたりすると、お子様や運んでいる方がケガをする原因になります。

● テーブルや椅子の上など不安定な場所に置いて使用しないでください。本装置のバランスが崩れて落下するおそれがあり、ケガをする原因になります。



● ハンドルを肩にかけて本装置を持ち運ばないでください。運んでいる方が転倒した場合、ケガをする原因になります。

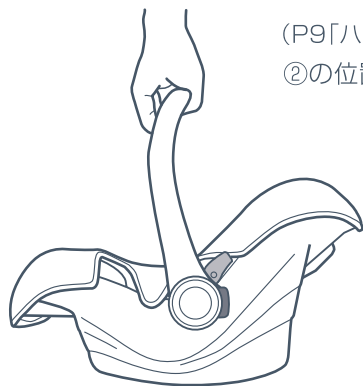


● 右図のような持ち方は決してしないでください。ハンドルの位置が変わり、お子様が落下するおそれがあります。

持ち方

ハンドルを垂直に立てた状態で、お子様を本装置に乗せたまま移動することができます。

●ハンドルを立てた状態で本装置を持つ場合



(P9「ハンドルの使い方」参照)
②の位置でご使用ください。

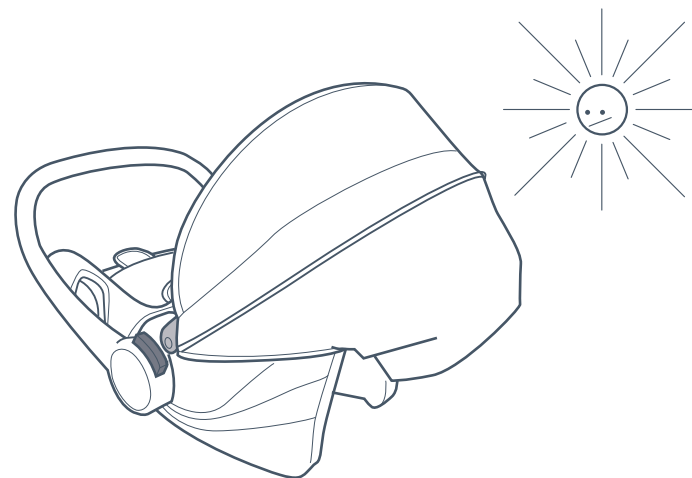
●ハンドルを肘にかけ、もう一方の手で本装置をつかむ場合



19

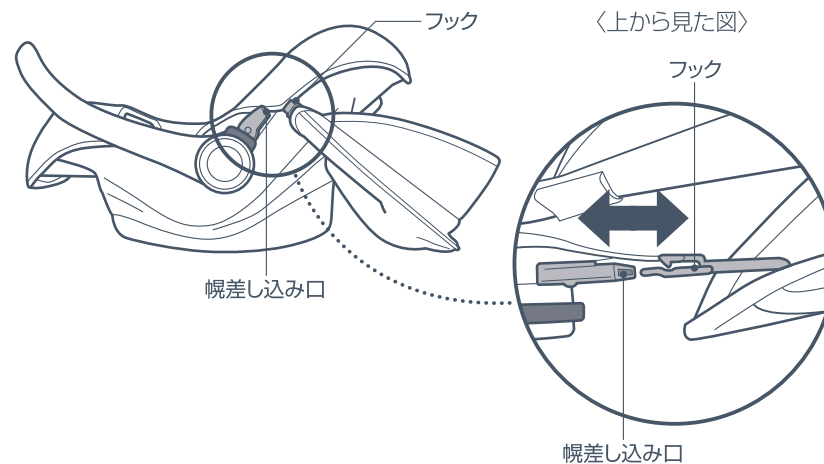
幌の使い方

幌は、お子様を強い日差しから守ります。



●幌の取り付け方・取り外し方

幌は、図のようにフックの抜き差しで取り付け・取り外しができます。

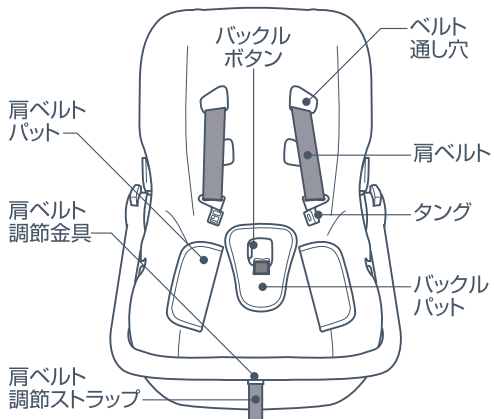


20

お手入れの仕方

1

バックルボタンを押して、肩ベルトから肩ベルトパットを取り外します。

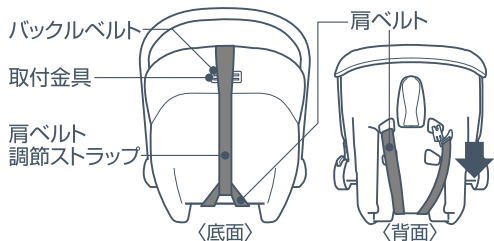


2

背もたれ裏側のベルト通し穴から肩ベルトを引き抜きます。

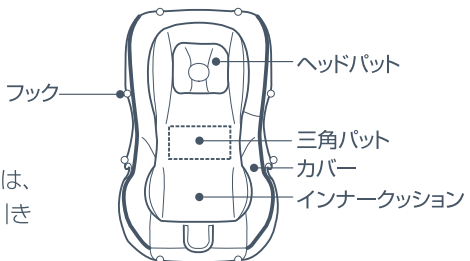
3

本装置の座面の裏側にある取付金具(右図)からバックルベルトを外し、バックル・バックルパットを取り外します。



4

本装置の背もたれの裏側からフックを外し、カバーを取り外します。



注意 肩ベルト調節ストラップは、肩ベルト調節金具から引き抜かないでください。



液温は30℃を限界とし、手洗いしてください。



ドライクリーニングはできません。



塩素系漂白剤は、使用できません。



日陰でつり干してください。



アイロンがけはできません。

手絞りの場合は弱く、洗濯機脱水の場合は短時間で行ってください。強く絞ると、シワが残ることがあります。